



フラ浪漫

第四回「市ヶ谷・荒木町」編

日向夢想
夢想人企画

はじめに

オフ会まち歩き企画「ブラ浪漫」に参加して、散策している時などに撮影した写真を、なんとなくまとめてみました。

拙いですが、記録として残します。

今回は、2010年10月02日に開催されたブラ浪漫第四回「市ヶ谷・荒木町」編の写真です。

すべてiPhone3GSにて撮影したものです。

撮影：日向夢想（夢想人企画）



市ヶ谷駅前の橋上から、外堀を新宿方向へ望む。



東京メトロ南北線構内の「江戸歴史散歩コーナー※」を見学。

※改札内なので入場券が必要です（笑）。



江戸城の石垣。地下鉄南北線の工事中に発掘された石を組んで展示している。

え どじょう いしがき
江戸城の石垣

きじばし
雉子橋（千代田区九段南）から出土した
石材を使って、江戸時代初期（17世紀初
頭）の「打ち込みハギ」と呼ばれる石積み
の技法を再現したものである。
当時石を割るには、割りやすいように石
の目にそって石切ノミで「矢穴」を掘り、
これに「矢」と呼ばれるくさび楔と、その両側
に「せりがね」と呼ばれる薄い鉄板を差
し込み、「げんのつ玄翁」で矢を叩いて割った（右
図）。石材には、切り出しや石積みを行っ
た藩や石工等の刻印と共に石割りの際の
矢穴が残っている。



矢穴や刻印は普通は石垣の隠れた面に多く残っているが、ここでは展示を目的として正面から見えるように積んである。

石垣の説明。



江戸城下の絵図を拡大再現したものが床一面に。



市ヶ谷周辺の模型。かなり精巧。



薄いビル。大丈夫か？

※実は平面形状は三角形で、別の側から見るとしっかりした感じであった。



突進！



カナルカフェ入口。ここで昼食。



リバーサイドデッキのオープンカフェ形式の客席。



東京水上倶楽部

EST. 1918 TOKYO SUIJYO CLUB

創業1918年 東京で最も古いボート場です。
当時は十人以上も乗れる大型の船をはじめ、
100艘もの船が浮かんでいました。
600mのお堀の周りに明かりを灯し、夜間の営業、
蛍、花火、灯籠流し、ラムネ、かき氷、江戸情緒を残した
ボート場は、都民の憩いの場でした。

現在、東京水上倶楽部[CANAL CAFE]は、浄化活動に取り組み、
2009年に、このお堀で蛍が生まれるまでになりました。
今後も、皆様の協力と共に、以前のような美しい外堀を目指し
再生に取り組んでまいります。



大正時代の東京水上倶楽部です。

カナルカフェの由来。元は東京で最も古いボート場だったそうだ。



見にくいけど、アパートの塀際、エアコン室外機の上に黒い猫。



住宅街。ゆるい坂道。



若宮町の、若宮八幡神社。



箆筒町あたり。



民家に張り付いた、小さな社。



カエルが盤ゲームで対戦してる（笑）。



オシャレな店先。



二十騎町って、かっちょいい名前だよな！



クラシックカー。ナンバーも「5 もー〇〇〇〇」ってシンプルなもの。



二十騎町の西端あたり。



民家。廃虚かな？



これは、間違いなく廃虚だろう。



のう天気。何の看板だろう。



河田町付近。公園の売店みたいな佇まいのお店（営業はしてなさそう）。



フジテレビは、お台場へ移転する前はここにあった。



曙橋駅付近。



荒木町。津の守弁財天。



荒木町「ととや」の入口。

ブラ浪漫第四回「市ヶ谷・荒木町」編

2010年12月16日 初版発行

著 者 日向夢想

発行者 夢想人企画

(c)2010 HINATA Yumemasa/MUSOUBITO-KIKAKU

写真はパプーにて540ピクセルx724ピクセルでアップロード、L設定で本文に挿入しています。